

北信教育事務所だより



～子どもに発し、子どもに還る 学校づくり・授業づくり～

令和6年9月25日 第4号

初任者研修夏期研修

ねらい

各領域の指導についての基礎・基本を確認し、2学期からの指導の見通しをもつ
同じ立場の仲間との交流により、相互理解を深め、教育的知見を広げる

見えてきた願いの実現において

1 学期の日々の実践や研修を通して「子どもたちにとって分かりやすい授業ができるようになりたい」「子どものことをもっと理解し、適切な指導ができるようになりたい」など、初任者の願いが明確になってきています。そのような中で、7月末から初任者研修の夏期研修が2日間に渡って行われました。

1日目はオンラインによる研修で、生徒指導と保護者対応や危機管理、道徳科の授業づくり、ICT活用についてと、幅広い内容が扱われました。オンライン上の画面には、講義を聞きながら熱心にメモをとる姿がありました。



2日目は校種や教科ごとに日を変え、参集による研修が行われました。最初に行われたセルフマネジメント研修では、普段接することがない、他地区の初任者同士で1学期の出来事や悩み等を語り合い、数年後の自分の姿を思い描きました。同じグループの初任者も自分と似た思いや悩みをもっていることに安心感を抱いたり、前向きに2学期を見据えている様子に刺激を受けたりする姿がありました。後半に行われた教科等の研修では、指導主事による講義や模擬授業に加え、自分の願いに沿って授業を構想し、導入や終末場面の模擬授業を互いに見合い、ミニ研究会を行うなどの演習を行いました。学習問題と学習課題の違いについて指導主事に質問する姿や学習指導要領を片手に授業を構想する姿からは、資質・能力を育む授業が構想できるようになりたい、という願いが感じられました。また、模擬授業やその後の意見交換を通して、授業の奥深さや自身の考えが更新されていく良さを実感している様子もありました。2学期の一歩を力強く踏み出す原動力となる時間となりました。



1 学期を語り合い、将来を思う



2 学期の授業を共につくる



<初任者の感想>

- 同期の先生方と話し合いながら授業づくりをしていく機会はとても楽しく、充実した時間だった。実践してみて、そこからさらに議論をしていく時間は、自分の考えが深まっていくのを感じた。
- 5年後の自分は、経験を積んで子どもや保護者と今よりもよい関係を築いていけるようになりたい。太陽のようにあたたかく優しい自分になれば、と思う。

各学校での特色ある実践

～中学校編～



これまでの学校訪問支援の中で、各校の研究テーマや課題等に基づき、授業づくりや工夫を凝らした研修を実施し、特色ある実践を重ねている学校の様子を紹介します。

「“願い”の実現に向けた一歩～国語科教科会の授業づくり～」 千曲市立戸倉上山田中学校

戸倉上山田中学校では、学校教育目標「自立した生徒の育成」及び、校訓の「努力 友愛 責任」を受け、国語科教科会として、グランドデザインや全校研究テーマに示されている「自分事として学ぶ生徒」に焦点を当てた授業づくりに取り組んでいます。

訪問で参観した書写の授業では、ICTを活用して、行書の筆づかいを中心に、生徒自身が学びのつながりを自覚できるような学習過程において、作品同士の比較や級友との対話の場を位置付け、自分の課題を具体的に掘めるようにするなど、「自分事として学ぶ」手立てが見られました。そして、生徒が自分の願いや目標を明確にし、それに沿った振り返りの場面も確実に位置付けていました。



授業後の研究会では、先生方が、目標に向けて粘り強く取り組む生徒の具体的な姿や、書写指導における自身の実践を重ねて語り合い、教師も「自分事として学ぶ」姿が印象的でした。学校、生徒、先生方の“願い”の実現に向け、方向性を明確にした授業づくりが行われていました。

「志高く主体的に学び続ける～初任研メンターチームでの学び合い～」 長野市立広徳中学校

広徳中学校では「問題を解決する力」「多面的・多角的に考える力」「想像する力」など「8つの力の成長を生徒・教師が感じることのできる授業づくり」を全校研究テーマとして研究を進めています。今年度は、この全校研究テーマを軸に、新規採用1年目から5年目までの先生方を中心とした初任研メンターチームの「授業づくり」に関わって、次のような流れで教育事務所のゾーン訪問を活用しています。

<p>1回目(7月) 1学期の授業実践の振り返り 「8つの力」の育成に向けた自身の取組について振り返り、意見交換を行いました。2学期に向けた自己課題が明確になりました。</p>	<p>2回目:授業公開(9月) 自己課題解決に向けた実践(授業公開) 1学期の自己課題を踏まえ、社会科のY先生はグループでの話し合いのもち方や全体共有の場を工夫し、「多面的・多角的に考える力」「想像する力」の育成を目指した授業を公開しました。</p>	<p>3回目(3学期) 実践の振り返り 「8つの力」の視点からの実践と生徒の育ちについて振り返ります。</p>
--	---	---

3回のゾーン訪問を初任研メンターチームの研修に位置付け、様々な立場の先生方が学び合う場としています。学校教育目標「志高く主体的に学び続ける」雰囲気醸成につながる取組です。

「職場体験活動を“体験”で終わらせない」—働く意義を問う— 長野市立松代中学校

松代中学校では、職場体験活動を単なる“体験”で終わらせずに、地域の方との関わりを通して、働く意義を考え続ける職業学習となるように、2つの工夫をしています。

① 年間を通して働く意義を考える時間を設ける <職場体験前後での生徒の変化を捉える>

松代中では、職場体験後も事業所の願いや困り感を基に、「自分にできることは何か？」を考え、事業所に提案する学習を構想しています。また、それらの学習を通して「働く意義とは？」を継続して考える時間を設けます。働く意義について生徒にどのような変化が起こるのか。その変化を教師が捉えて、指導に生かすことで、働く意義を自分事として捉えられるようになることが期待できます。

② 3年生も学習に参加し学びを自覚する場を位置付ける <双方向性のある学び>

2年生の職場体験前には、3年生から昨年度の経験を聞く時間をとりました。「職場体験で伸びたことは？」という2年生からの問いに「コミュカかな」と理由も語る3年生。3年生にとっても職場体験を通した学びを振り返り、成果を自覚する機会となりました。



生涯学習かわら版

北信地区活動だより

～「人・つながり・地域」づくりを通じたウェルビーイングの実現～

令和6年7月17日

北信教育事務所生涯学習課 指導主事 菅原 勇介

北信教育事務所の生涯学習課では「社会教育」「スポーツ振興」「社会人権教育」を推進しています。今回は、信州型コミュニティスクール(CS)推進セミナーの様子をお伝えします。



信州型CS推進セミナーを実施しました



6月27日(木)に北信合同庁舎、7月9日(火)に千曲市総合教育センターで信州型CS推進セミナーを開催しました。学校関係者、行政関係者、コーディネーター、地域住民等多様な立場の方がつどい、実践発表や日頃の取組をもとに意見交換を行いました。

実践発表は「つながるすざか」の祝井一幸さん、須坂市地域おこし協力隊の小田達彦さんが行いました。

○お二人の話から

- ・学校運営委員会が形式的な報告会ではもったいない。協働活動の具体的な方針や取組を委員同士が考え実行できる会にしないと形骸化するのではないか。
- ・広報の仕方を考えたい。即時に色々な方に伝わる仕組みが必要だろう。
- ・年2～3回の会議で毎年委員も入れ替わるとなると、建設的に議論を深めて何かを実行するというのは現実的に難しいだろう。
- ・子どもたちと関わりたいという人は確実にいる。その声を学校とどうつなぐかを考えたい。そのために地域サロンや居場所づくりに取り組んでいきたい。



発表者 小田さん(左)祝井さん(右)

★グループワークのテーマ(中野会場)★

- ① CS推進にあたって行政の役割・工夫
- ② 運営委員会・協議会のあり方、組織
- ③ 広報の工夫
- ④ 地域と学校のニーズの合致
- ⑤ 放課後の子どもの活動



★グループワークのテーマ(千曲会場)★

- ① 地域と学校のニーズ
 - ② 地域コーディネーター人材の育成や参加者の高齢化
- この2テーマを軸に、若い世代への波及、PTAとの関わりなどに広がりました。

・運営委員会の前に対話のテーマを決めるが大事ですね。
・移住先を決めるときなどに学校や自治体のホームページやSNSを見るんですね。

参加者が話し合いたいテーマを出し合い、そのことについて考え合いたいメンバーで集まりました。

・放課後の居場所づくりは安全面を考えると、学校や保護者と十分な話し合いと理解が大切ですね。

・地域づくりに取り組む多くの団体との横の展開が大事でそれぞれが何をしているのか互いに理解することが求められますね。

○参加者の感想から

- ・運営委員の選定についてや、運営委員会での話し合いの方法を考えたい。
- ・広報のあり方について、様々な意見交換ができた。学校との連携のもと、市の広報やSNSの活用について考えて行きたい。
- ・運営委員会、協議会が「報告」だけにならないために何ができるか、今後、自分が参加する際に手立てを用意しておきたい。



コミュニティスクールの研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡してください。ぜひ視察にも行かせてください。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当:菅原勇介
Tel:026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp

